

4月21日は忌み日、黒旗を一

山口 洋司

死の商人が世界をうようよしています。平和が敵、だとうそぶく武器商人です。

世界に戦争を仕掛けて敵、味方関係なく武器を売って利潤を得る、日本でも高市総理に呼応して活発に動き、武器輸出全面解禁にまで持ち込みました。

誰かが殺されようが知ったことでない。死の商人どもがどこかで微笑んでいます。

話変わりますがわたしはこの3月、父親が小学生の息子を殺害してメディアに執拗に報じられた南丹町園部にある京都府立園部高校に在学していました。

事件の現場からほん近くの園部高校は緑濃き園部城の跡地に建ち、城門がそのまま校門になるなどお城のゆかりがあちこちに残る奥床しい高校で、園部の町も静かに自然に包まれた城下町でしたが、事件で一夜にしてダーティなイメージの町に変わりました。



その園部高校に入学と同時に松本先生という強烈な個性の先生に出会いました。社会科の先生です。教科書などは買わなくていい、代わりに岩波新書の『死の商人』（著 岡倉古志郎）を買うようにと指示、それをもとに、武器商人を通じて国家と平和の問題を熱く教えるのでした。教育委員会にがちがちに管理されている今なら考えられないことです。

黒ぶちの眼鏡をかけ、長髪を両手でかきあげながらかん高い声で皆さんを皆しゃんと九州弁丸出しで話すことから皆にシャン、とニックネームをつけられ人気の先生でした。

大砲王のクルップや火薬王で原爆開発にも手をかしたデュポン、第一次世界大戦の仕掛け人のザハロフ、ダイナマイト王のノーベル、機関砲のマキシム、鉄鋼王のモルガンらで、世界のどこかで火をつけて武器を売り込む、人道的であろうがなかろうが、祖国であううが祖国の敵であろうが武器が売ればいい、世界はこの一握りの人たちが動かしている、松本先生の平和への思いの話は熱く、他の先生のことはひとつも覚えていませんが松本先生のことだけは容姿から語り口、いまだ鮮やかです。

武器輸出全面解禁を武器商人と手を結んで、国会で議論もせず強行した高市さんです。

正気とは思えません、人を殺す目的の武器を増産してばらまく、戦争拡大に加担する。松本先生は「平和も戦争も人間が作り出すものだ」と言っていました。

世界の軍事費は460兆円、前年比2.9%増、過去最高だそうです。日本はなんと9.7%増、地球は武器の海です。高市さん正気になれないなら総理を辞めて下さい。

武器輸出全面解禁の4月21日は忌み日です。みんな、いっせいに黒旗を揚げましょう。